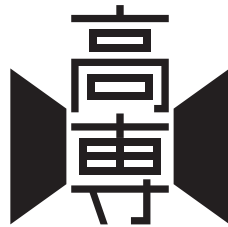


平成 28 年 度

編入学者募集要項

入 学 案 内



願 書 受 付 期 間	平成27年 8 月25日(火)～ 8 月31日(月)
試 験 日	平成27年10月 7 日(水)
合 格 発 表 日	平成27年10月19日(月)

独立行政法人 国立高等専門学校機構
国立八戸工業高等専門学校

National Institute of Technology, Hachinohe College

〒039-1192 青森県八戸市大字田面木字上野平16の1

電 話 (0178) 27-7234

F A X (0178) 27-9487

ホームページ <http://www.hachinohe-ct.ac.jp/>

メールアドレス kyoumu-o@hachinohe-ct.ac.jp

目 次

○ 八戸高専とは	1
○ 編入学者募集要項	
1. 編入学を実施する学科、募集人員及び編入学年次	2
2. 出 願 資 格	2
3. 志 望 学 科	2
4. 出 願 手 続	3
5. 選 抜 方 法	4
6. 携 帯 品	4
7. 合格者の発表	4
8. 入学確約書の提出	5
9. 入 学 手 続 等	5
10. 身体に障害を有する入学志願者の事前連絡	5
11. 個人情報の取り扱いについて	5
• 学力試験の出題範囲	6
○ 学習・教育到達目標	7
○ 入 学 案 内	
1. 本校の目的と性格	8
2. 創 設	8
3. 修業年限・学生定員等	8
4. 学 科 の 紹 介	8
5. 課 外 活 動	10
6. 学 寮	10
7. 編入学時に要する経費（予定）	10
8. 入学料・授業料及び寄宿料免除等制度	10
9. 奨 学 金 制 度	11
10. 卒業後について	11
(1) 卒業後に取得できる主な資格	11
(2) 就 職	12
(3) 進 学	14
○ 試験場案内図	

八 戸 高 専 と は

本校は、社会の多様な要請に応えるため、独自の教育目的を掲げ、創造力と開発能力を有する実践的技術者の育成に努めています。この実現のため本科1学科4コース・専攻科1専攻4コースを設置し、具体的に設定した学習・教育到達目標の達成を目指して教育活動を展開し、自己点検し、教育改善を進めています。

教育方針

豊かな教養を基盤として、高等の専門技術科学を体得せしめ、個人の自由と責任を自覚して規律を遵守し、人類福祉の増進と社会の進展に積極的に貢献する技術者を養成することを教育理念としています。

本科の工学基礎教育の上に専攻科の工学教育を通して、創造力と開発能力を兼ね備えた実践的技術者を育成します。

この目的を達成するため、「誠実・進取・協調」の校訓にのっとり、自立的な人材の育成に主眼をおきながら、ものづくり・システムづくりの専門技術教育を推進します。

○ 養成しようとする技術者像

本校が、養成しようと考えている技術者像は、「多角的視野を持ちつつ、実験・測定技術、数理的手法および情報処理技術を基盤に、得意とする専門技術分野の基本的素養を持った、『ものづくり』や『システムづくり』に強い実践的・創造的な技術者」です。

○ 学習・教育到達目標（後述、7頁参照）

アドミッションポリシー

本校の教育方針にふさわしい学生を募集するため、学生募集の理念と入学者選抜方針いわゆるアドミッションポリシーを以下のとおり設定し、次のような「ものづくり」に興味を持ち、将来優れた技術者として社会に貢献することに熱意を持った学生の入学を期待しています。

1. 他人への思いやりができ、誠実で責任ある行動が取れる人
2. 高等学校において、工業の基礎を修得した人
3. 本校の教育目標を理解し、その目標に向かって努力する人
4. 技術を通して社会に貢献する熱意がある人
5. 自ら対話しようと心がける人

平成28年度編入学集要項

1. 編入学を実施する学科、募集人員及び編入学年次

学 科	募 集 人 員	編入学年次
機 械 工 学 科	若 干 名	第 4 学 年
電気情報工学科	若 干 名	第 4 学 年
物 質 工 学 科	若 干 名	第 4 学 年
建設環境工学科	若 干 名	第 4 学 年

2. 出 願 資 格

次に掲げる者で、在籍（出身）高等学校長が推薦する者とする。

- (1) 工業高等学校を卒業した者又は平成28年3月卒業見込みの者。
- (2) 高等学校の工業等に関する学科を卒業した者又は平成28年3月卒業見込みの者。
- (3) 総合高等学校を卒業した者又は平成28年3月卒業見込みの者で、電気情報工学科、建設環境工学科を志望する者。ただし、関係専門科目を修得した者又は修得見込みの者。

3. 志 望 学 科

前項に該当する志望学科は、次のとおりとする。

出 願 者 の 在 籍 し て い る 科 又 は 卒 業 し た 科 (同 系 統 の 科 を 含 む)	出願者の志望できる学科
機 械 工 学 科 電 子 機 械 科 材 料 技 術 科	機 械 工 学 科
(A) 電 気 工 学 科 電 子 機 械 科 情 報 技 術 科 (B) 総合高等学校で関係専門科目を 修得した者又は修得見込みの者。 (注参照) (C) 電気、電子、電子機械、情報 技術関連分野の学科	電 気 情 報 工 学 科
工 業 化 学 科 化 学 工 学 科	物 質 工 学 科
(A) 土 木 工 学 科 (B) 総合高等学校で関係専門科目を 修得した者又は修得見込みの者。 (C) 建設環境関連分野の学科 (農業土木科、海洋開発科、建築科など)	建 設 環 境 工 学 科

(注) 一般選択科目では、可能な限り数学系の科目を選択していることが望ましい。

4. 出 願 手 続

(1) 願書受付

- ① 期 間 平成27年 8 月25日(火)から 8 月31日(月)まで
郵送の場合も、期間内必着とします。
(注) 郵送の場合は、必ず**速達書留**とし封筒の表に「**編入学願書在中**」と朱記してください。
- ② 時 間 午前 9 時から午後 4 時まで
- ③ 場 所 八戸工業高等専門学校 学生課入試・教務係
〒039-1192 八戸市田面木字上野平16-1
TEL (0178) 27-7234

(2) 出願書類等

編入学志願者は、次の書類等を完備のうえ、一括して在籍（出身）高等学校長を経由して、本校学生課入試・教務係に提出してください。

①・編入学願書 ・写真票・受験票	本校所定の用紙に必要な事項を記入してください。 なお、写真票に貼付する写真は、平成27年7月以降に撮影した正面向き、上半身、脱帽の縦6cm×横4.5cmの大きさのもの。
②推 薦 書	本校所定の用紙を使用し、在籍(出身)高等学校長が記入したもの。
③調 査 書	在籍（出身）高等学校長が証明し、厳封したもの。
④卒業見込証明書 又は卒業証明書	在籍（出身）高等学校長が証明したもの。
⑤返 信 用 封 筒	受験票送付用ですから、本校所定の封筒に82円切手を貼り提出してください。
⑥検 定 料	16,500円（納入期間：平成27年8月14日(金)～平成27年8月31日(月)） 本校所定の「入学検定料振込依頼書」により銀行等（ゆうちょ銀行を除く。）にて振込み、「入学検定料領収書・受付証明書」を「入学検定料領収書・受付証明書貼付票」に貼り付けて提出すること。
⑦受 験 承 諾 書	既に就職している者又は大学に在籍中の者については、その所属長の「受験承諾書」を本校校長宛に提出してください。 様式は任意です。
⑧登 録 済 証 明 書	外国人は、出願に際し市町村長発行の「外国人登録済証明書」を提出又は「在留カード」を呈示してください。

(注1) ③と④の書類については、在籍（出身）高等学校所定の用紙を使用してください。

(注2) 受験票が9月10日(木)までに届かない場合は、本校学生課入試・教務係へ問い合わせてください。

(3) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けません。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 願書提出後の記載事項の変更は認めません。
- ④ 受理した出願書類及び検定料は、いかなる理由があっても返還しません。

5. 選 抜 方 法

編入学者の選抜は、学力試験の成績、在籍（出身）高等学校からの調査書及び面接を総合して行います。

(1) 学 力 試 験

(ア) 学力試験は筆記試験です。

(イ) 出題する科目は、次のとおりです。

志 望 学 科	一般科目	専 門 科 目	備 考
機 械 工 学 科	英 語	(A) 物理基礎・物理・機械設計・機械工作	機械科・電子機械科に在籍する者(又は卒業生)
		(B) 物理基礎・物理・工業材料・材料加工	材料技術科に在籍する者(又は卒業生)
電気情報工学科	数 学	(A) 電気基礎(電気基礎の中で、各種の波形、三相交流を含む)	いずれか選択すること。
		(B) 電気基礎(電気基礎の中で、各種の波形、三相交流を除く)、情報技術	
物 質 工 学 科	作 文	工 業 化 学 ・ 化 学 工 学	
建設環境工学科		土木基礎力学(土木構造力学、水理学、土質力学)	

(注) 学力試験の出題範囲は、別表(6頁)のとおりです。

(ウ) 学力試験及び面接の日時(志望学科にかかわらず同一日程です。)

期 日	時 間				
10月7日(水)	9:00~9:50	10:00~11:00	11:10~12:40	13:30~15:00	15:10~
	作 文	英 語	数 学	専門科目	面 接

(注) 午前8時30分までに本校の指定する場所に集合してください。

(エ) 学力試験等の実施場所 八戸工業高等専門学校

(2) 面 接 学力試験終了後、志願者全員に対して面接を行います。

6. 携 帯 品

(1) 受 験 票

(2) 筆記用具等 鉛筆・消しゴム・鉛筆削り・直定規・コンパス

(3) 昼 食 学生食堂で弁当等を販売しています。

(4) 上 履 必要ありません。

7. 合格者の発表

(1) 発表日時 平成27年10月19日(月) 午後3時

(2) 発表方法 合格者の受験番号を本校に掲示するとともに、在籍(出身)高等学校長宛に郵送します。

また、午後3時以降に本校のホームページ(<http://www.hachinohe-ct.ac.jp>)に合格者の受験番号を掲載します。

なお、電話等による可否の問い合わせには応じられません。

8. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を平成27年11月26日(木)午後5時必着で八戸工業高等専門学校学生課入試・教務係へ提出して下さい。

なお、期限までに「入学確約書」を提出しない者は、本校に入学の意志がないものとして取り扱います。

9. 入学手続等

入学手続等については、後日通知します。

10. 身体に障害を有する入学志願者の事前連絡

各高等学校長は、難聴者、弱視者、その他身体の不自由な者等で、受験上及び修学上特に配慮する必要のある者については、あらかじめ本校校長に直接その事情を連絡し、別に、次の事項を記入した「身体等の状況の記録」を作成し、健康診断書など、「身体等の状況の記録」に記載した内容を証明する書類を添付して提出すること。

(ア) できるだけ詳細な身体等の状況及び高校で配慮している措置

(イ) 受験に当たって配慮してほしい措置

(ウ) 入学後、本校において特に配慮する必要のある措置又は指導上留意すべき事項

提出の時期 平成27年8月7日(金)まで

提出先 八戸工業高等専門学校 学生課入試・教務係 TEL (0178)27-7234

11. 個人情報の取り扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

(1) 入学後の教育・指導

(2) 入学料、授業料の免除申請の審査

(3) 奨学金申請の審査

(4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

別 表

学 力 試 験 の 出 題 範 囲

学 科	科 目	学 力 試 験 の 範 囲
各 学 科 共 通 (一般科目)	英 語	1. 総合英語 2. 異文化理解
	数 学	1. 数学Ⅰ (1) 数と式 (3) 図形と計量 (2) 2次関数 2. 数学A (1) 場合の数と確率 (3) 図形の性質 (2) 整数の性質 3. 数学Ⅱ (1) いろいろな式 (4) 指数関数と対数関数 (2) 図形と方程式 (5) 微分と積分 (3) 三角関数
	作 文	課題を課し、800字程度にまとめる
機 械 工 学 科	共通	物 理 基 礎 1. 物体の運動とエネルギー
		物 理 1. 様々な運動 (力と運動)
	(A)	機 械 設 計 1. 機械に働く力 3. 機械要素と装置(伝達装置) 2. 材料の強さ
		機 械 工 作 1. 機械材料 2. 各種の工作法
	(B)	工 業 材 料 1. 工業材料の性質と構造 3. 工業材料の製造 2. 工業材料の検査
		材 料 加 工 1. 工業材料の加工
電 気 情 報 工 学 科	(A)	電 気 基 礎 1. 直流回路 3. 交流回路 5. 各種の波形 2. 磁気と静電気 4. 電気計測 6. 三相交流
	(B)	電 気 基 礎・ 情 報 技 術 1. 直流回路 3. 交流回路 5. 情報技術 2. 磁気と静電気 4. 電気計測
物 質 工 学 科	工 業 化 学	1. 地球と化学 3. エネルギーと化学変化 2. 水と化学 4. 石油と化学
	化 学 工 学	1. 物質とエネルギーの収支 2. 単位操作 (流体の輸送)
建 設 環 境 工 学 科	土 木 構 造 力 学	1. 応力と材料の強さ 5. 梁に生じる応力 2. 力の釣合い 6. 梁のたわみ 3. 静定梁の断面力 7. トラス 4. 部材断面の性質
	水 理 学 及 び 土 質 力 学	1. 水理 (1) 静水圧 (3) 流れの連続性 (2) 開水路と管水路 (4) ベルヌーイの定理 2. 土質 (1) 土の基本的性質 (3) 地中の応力 (2) 土の浸透性

学 習 ・ 教 育 到 達 目 標

本校では次の6つの学習・教育到達目標を設定していますが、これらは「豊かな人間性の涵養」、「工学知識・技術の修得」、「地域社会への貢献」、「コミュニケーション能力の習得」の4つの骨格からなり、これらを有機的に結びつけているのが本校の伝統となっている校訓「誠実・進取・協調」であり、精神的支柱の役割も果たしています。6つの学習・教育到達目標は、講義、演習、実験・実習、卒業研究・特別研究、校外実習・学外研修などカリキュラムを基礎とする教育活動で十分な達成が図られます。学習・教育到達目標の達成を可能にするため目標ごとに具体的な行動基準をそれぞれ設定しており、学習に取り組む際のめあてにしております。

A. 豊かな人間性の涵養

国際的視野に立ち、地球環境や人類社会に及ぼす技術の影響を理解し、またその責任を自覚できる、誠実で健全な心身を養う。

B. 工学知識・技術の修得

(B-1) 数学・自然科学の知識・情報処理技術の修得

数学、自然科学の基礎知識と実験・測定技術および情報処理技術を修得し応用できる。

(B-2) 専門知識の修得

得意とする専門分野の知識と技術を修得し、「連峰型教育」を活かした複合的専門基礎知識も身につける。

C. 地域社会への貢献

(C-1) デザイン能力とものづくり能力

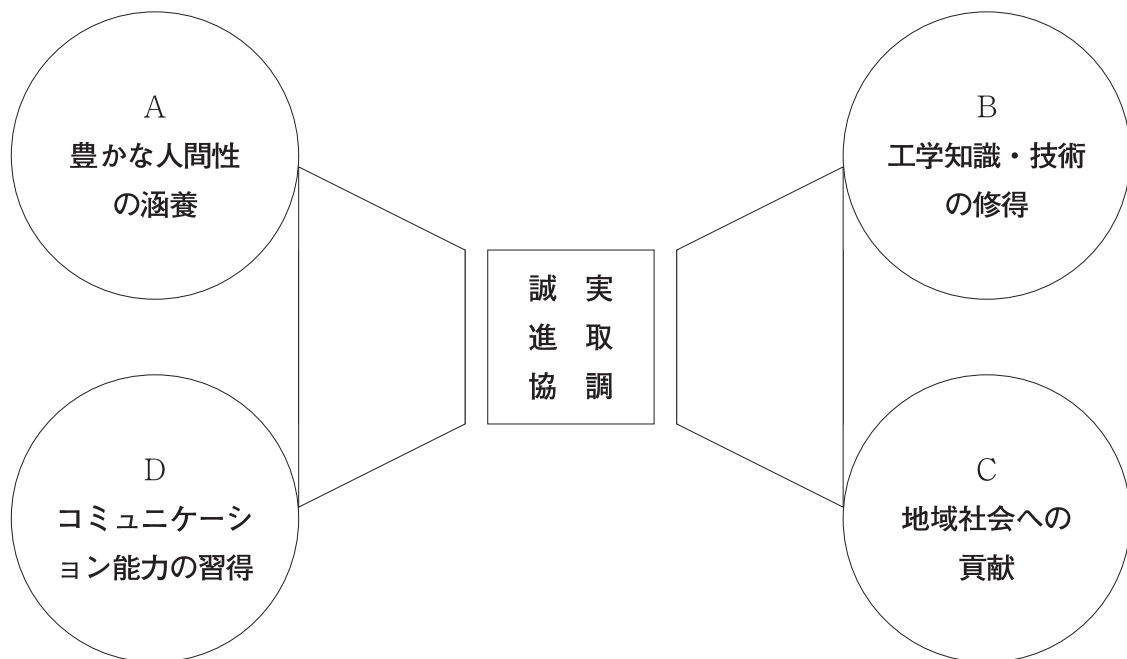
協調性を発揮し、技術を創造・開発またはシステム化できるデザイン能力とものづくり能力を修得する。

(C-2) 地域社会への貢献

北東北の重点課題であるエネルギー、環境の問題に関心を持ち、それらの課題に積極的に取り組む、進取の姿勢を身につける。

D. コミュニケーション能力の習得

意思を明晰に相互伝達する日本語力と、国際社会に対応できる英語基礎力を身につける。



入 学 案 内

1. 本校の目的と性格

本校は「深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成すること」を目的とし、中学校卒業程度を入学資格とする5年制の技術者養成のための高等教育機関です。

2. 創 設 昭和38年4月1日

3. 修業年限・学生定員等

本 科		産業システム工学科				機 械 工学科	電気情報 工 学 科	物 質 工学科	建設環境 工 学 科	合 計
		機 械 システム デザイン コ ー ス	電気情報 工 学 コ ー ス	マテリアル ・バイオ 工 学 コ ー ス	環境都市 ・建 築 デザイン コ ー ス					
	修 業 年 限	5 年				5 年				—
	学 級 数	1	1	1	1	1	1	1	1	—
	募 集 人 員	40人	40人	40人	40人					160人
	入 学 定 員	160人				40人	40人	40人	40人	160人
	学生総定員	160人				160人	160人	160人	160人	800人

専 攻 科		産業システム工学専攻				機械・電気 システム 工学専攻		物 質 工学専攻	建設環境 工学専攻	合 計
		機 械 システム デザイン コ ー ス	電気情報 システム 工 学 コ ー ス	マテリアル ・バイオ 工 学 コ ー ス	環境都市 ・建 築 デザイン コ ー ス					
	修 業 年 限	2 年				2 年				—
	学 級 数	1	1	1	1	1		1	1	—
	募 集 人 員	7人	7人	7人	7人					28人
	入 学 定 員	28人				8人		4人	4人	44人
	学生総定員	28人				8人		4人	4人	44人

※ 編入学者は第4学年に入学するので、本科修業年限は2年です。

※ 平成27年度から、本科は4学科から1学科4コースに、専攻科は3専攻から1専攻4コースに改組となりました。

4. 学 科 の 紹 介

〈機械工学科〉

各産業界におけるおよそ姿・形のある製品は、研究／開発・設計・製造の各段階において、いずれも機械技術を必要としています。

機械工学は、このように各種産業の基礎であると同時にその範囲も広く複雑です。さらに、近年の科学技術の進歩は、日進月歩です。

機械工学科では、従来の機械工学の分野を含め、エレクトロニクスを機械工学に応用したメカトロニクスなど急速な技術の進展に順応するための、基礎的な原理の修得はもちろんのこと、将来にわたって新知識を吸収し、独創的な考察を行うことができるように、十分な注意をはらって科目の履修、実験実習の指導に力を注いでいます。さらには、校外実習、工場見学、卒業研究を通して総合的な判断力、自主性、創造力が培われるように指導しています。

〈電気情報工学科〉

現代は、あらゆる産業や生活に急速に電気や情報の先端技術が入り込んでいます。電気情報工学科では、これらの先端技術を支える電気工学と情報工学の基礎を学習し、学生が将来広い分野で活躍できるようにしています。

電気系エンジニアの育成に加え、電気工学の基礎をもった情報系エンジニアの育成をも目指しています。

4・5学年では「電気電子工学コース」と「情報工学コース」に分かれ、主に次の五分野について学習することになります。これらの分野の基礎的な内容は両コースとも学習します。まず、①エネルギーの発生、輸送、消費までの過程、更にその周辺を学ぶ電力工学、②コンピュータを構成するLSIやテレビ・オーディオを構成するトランジスタ回路などを学習する電子工学（エレクトロニクス）、③ロボットのコントロール、メカトロニクスを学習する制御工学、④コンピュータと結合し知識の認知・処理にまで拡がりつつある情報通信工学、⑤コンピュータリテラシー（コンピュータ活用能力）と情報科学の基礎を学習する情報工学です。これらのテクノロジーは、他の科学技術を刺激しつつ大きく躍動している分野です。

また、卒業研究においては「ニーズ」の把握、推論と分析等を通じて、創造性を養います。

なお、属するコースは合格判定後、希望により決定します。

〈物質工学科〉

優れた材料や有用な物質は、今や人間生活には欠かせないものになっています。たとえば、多様な合成繊維やタンパク質、各種金属、プラスチック、ゴム、セメント等は私たちの衣食住を支えています。また、液晶、炭素繊維、ニューセラミックス、半導体、光ファイバー、機能性膜など、最近次々登場してくる新素材は産業界に大きな変革を与え、私たちの日常生活や健康維持にも多大な恩恵をもたらしています。このような価値のある物質を生み出す中心的技術が化学技術です。

さらに生物学の進歩は今までの生物学と化学の境界を取り払いつつあります。これを利用したバイオテクノロジーは極めて複雑な物質でも、常温、常圧の温和な条件のもとで選択的に有用物質を私たちに供給してくれることがわかり、省資源、省エネルギー型の物質生産の道が切り開かれてきています。化学を中心にしためざましい技術革新に対応し、バイオに強いケミカルエンジニアの育成を目指して発展しています。

物質工学科では、物質の構造、変化、性質等、化学の基礎原理と細胞、遺伝子等の生物学の基礎を学習し、これらを応用して新たな材料やエネルギーを生み出すための方法を学びます。

編入学後は、材料化学、精密化学を主体とした物質コースに所属し、化学の応用分野を深く学習します。さらに校外実習や卒業研究にも力をいれており、地球に優しく広い視野をもち、創造性豊かなエンジニアに育つように導いています。

〈建設環境工学科〉

社会基盤の整備と同時にその環境保全の目的をもつ建設事業は、あらゆる産業の基盤的役割を果たす公共事業の主体をなすものであります。新幹線・橋梁・ダム・海底トンネルなどの建設工事は、大型化に加えて技術の高度化の傾向にあります。一方では、自然環境の保全や快適な環境の創生のための技術も求められており、そのため官公庁や建設業界では、幅広い知識をもった有為の建設技術者を求める声がますます大きくなっています。

建設環境工学科では、環境の保全と再生、安全・安心で持続的発展が可能な社会の実現のための社会基盤整備を目指してきました。21世紀をむかえ都市や地方の社会・生活環境が大きく変わっていく中、地域住民に支持される社会資本を整備していくためには建築系のデザイン力も必要になっています。そこで本学科では平成21年度から建築系の授業をとり入れました。建設・防災・環境・計画・建築（デザイン）をキーワードとして、それぞれの分野に関する知識と技術を身に付け、創造力にあふれたものづくりに強い実践的技術者を育成するためのカリキュラムが用意されています。

5. 課 外 活 動

学生会には、下記のクラブ（部）があり、いずれも顧問教員等の指導のもとに活発な活動をしています。

文化系クラブ：科学・自動車工学・写真・音楽・吹奏楽・電子情報工学・華道・書道・美術・放送・演劇・インターナショナルフレンドシップ・総合デザイン

体育系クラブ：陸上競技・バスケットボール（男・女）・バレーボール（男・女）・ソフトテニス・卓球・柔道・剣道・硬式野球・サッカー・水泳競技・テニス・バドミントン・ラグビーフットボール・ハンドボール・空手道・山岳・弓道

また、委員会としては文化委員会・体育委員会・行事委員会のほか高専祭実行委員会等があり、それぞれ自主的に運営しています。

さらに、ロボットコンテスト・プログラミングコンテスト・デザインコンペティション・英語プレゼンテーションコンテストなどに積極的に参加し、全国的に活動しています。

6. 学 寮

本校の学寮は、規律ある共同生活を体験する教育寮です。1・2学年男子は全寮制で、原則として全員が寮生活をするようになっていきます。編入学者を含め、3～5学年生・専攻科生男子及び女子については、希望者の中から選考して入寮を許可しています。

○ 学寮諸経費（平成27年度予定）

年 額 約 330,400円

内 訳	— 寄宿料（月額 700円）	8,400円
	— 寮生会費（年額）	3,000円
	— 学寮運営費（年額）	約79,000円
	— 学寮給食費（年額）	約240,000円

7. 編入学時に要する経費（予定）

- (1) 入 学 料 84,600円
- (2) 授 業 料 前期分 117,300円（年額 234,600円）
- (3) 教 科 書 約 57,000円（学科により多少違います。）
- (4) 作業衣、作業帽 約 5,400円（ ）
- (5) 学生会費他 約 40,000円

※上記の額は改定される場合があります。

8. 入学料・授業料及び寄宿料免除等制度

- (1) 編入学前1年以内において、学資負担者が死亡又は風水害等の被災により、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合は、本人の申請に基づき、選考のうえ入学料を免除（全額又は半額）する制度があります。但し、倒産・リストラ等による場合は認められません。

また、経済的理由で入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合には、入学料の徴収を一時的に猶予する制度もあります。

- (2) 経済的理由又は風水害等の災害により、授業料の納付が困難であり、かつ、学業・人物共に優秀と認められる場合は、本人の申請に基づき、選考のうえ授業料を免除（全額又は半額）する制度があります。
- (3) 学生又は学資負担者が風水害等の災害を受け、寄宿料の納付が困難であると認められる場合は、寄宿料を免除する制度があります。

9. 奨学金制度

人物・学業ともに特に優れ、経済的理由により修学の困難な者には、選考のうえ日本学生支援機構等の奨学金が貸与されます。なお、本校では約30%の学生が奨学生として採用されています。

○ 本校における奨学生の現況

奨 学 生 の 種 類			貸 与 月 額				奨学生数 (平成26年度)
			本科1～3学年		本科4・5学年および専攻科生		
日本 学生 支援 機構	第一種 奨学生	自 宅	21,000円	または 10,000円	45,000円	または 30,000円	220 人
		自宅外	22,500円		51,000円		
	第二種奨学生		30,000円・50,000円・80,000円・100,000円・120,000円から選択				7 人
そ の 他 の 奨 学 生			地方公共団体、交通遺児育英会など				31 人
合 計							258 人

(注) 編入学生の貸与月額は、上記の4・5学年に該当します。

10. 卒業後について

(1) 卒業後に取得できる主な資格

本校を卒業すると工業関係技術者等の各種資格が取得できます。その主な資格は次のとおりです。

● 各学科共通

- 卒業と同時に経済学に該当する科目の単位修得者は、税理士試験の受験資格が得られます。
- 卒業後7年以上安全に関する実務経験を有する者は、労働安全コンサルタント試験の受験資格が得られます。
- 卒業後7年以上衛生に関する実務経験を有する者は、労働衛生コンサルタント試験の受験資格が得られます。
- 卒業後定められた講習を修了した者は、衛生工学衛生管理者の資格が得られます。
- 卒業と同時に準学士の称号が授与されます。

● 機械工学科

- 卒業後6月以上整備作業に関する実務経験を有する者は、三級自動車整備士の受験資格が得られます。
- 卒業後4年以上発電用のボイラー、蒸気タービン、ガスタービン又は燃料電池設備（最高使用圧力が18キロパスカル以上のもの）工事等の実務経験を有する者は、第2種ボイラー・タービン主任技術者免状が得られます。
- 卒業後圧力5880キロパスカル以上の発電用のボイラー又は蒸気タービン工事等の実務経験4年以上を含む8年以上の実務経験を有する者は、第1種ボイラー・タービン主任技術者免状が得られます。

● 電気情報工学科

電気情報工学科の教育課程において、特に定められた科目を修得した者については、次の資格が得られます。

- 電気主任技術者第3種認定校からの編入学者であって、本校卒業後2年以上電圧500ボルト以上の電気工作物工事等の実務の経験を有する者は、経済産業大臣に申請し、審査を受けることにより第3種電気主任技術者免状が得られます。
- 卒業後5年以上電圧1万ボルト以上の電気工作物工事等の実務の経験を有する者は、第2種電気主任技術者免状が得られます。

● **物質工学科**

- 卒業と同時に毒物劇物取扱責任者となる資格が得られます。
- 卒業（若しくは化学に関する科目15単位以上修得）と同時に甲種危険物取扱者試験の受験資格が得られます。
- 卒業と同時に火薬類製造保安責任者試験の試験科目が一部免除されます。
- 卒業後5年以上の実務経験を有し、その後認定講習を修了した者は公害防止管理者の受験資格が得られます。（大気関係・水質関係3種、公害防止主任管理者は実務経験7年以上必要）また、大気関係・水質関係1種の受講については技術資格が必要です。
- 卒業後1年以上労働衛生の実務経験を有する者は、作業環境測定士試験の受験資格が得られます。
- 卒業後2年以上の実務経験を有し、その後受講資格指定講習及び認定講習を修了した者は、廃棄物処理施設技術管理者の資格が得られます。

● **建設環境工学科**

- 測量に関する科目を修めた者は、卒業と同時に測量士補となる資格が得られます。また、卒業後3年以上測量の実務経験を有する者は、測量士となる資格が得られます。
- 卒業後2年以上土木工事の実務経験を有する者は、2級土木施工管理技術検定の受験資格が得られます。また、5年以上の実務経験を有する者は、1級土木施工管理技術検定の受験資格が得られます。
- 指定科目を修得し卒業した者は、2級・木造建築士試験の受験資格が得られます。また、2級建築士として設計その他の国土交通省令で定める実務の経験を4年以上有する者は、1級建築士試験の受験資格が得られます。
- 卒業後3年以上水力設備工事等の実務の経験を有する者は、第2種ダム水路主任技術者免状が得られます。また、高さ30メートル以上のダム工事等実務の経験5年以上を含む8年以上の実務の経験を有する者は、第1種ダム水路主任技術者免状が得られます。

(2) **就 職**

本校卒業生の就職はきわめて順調です。

卒業生は、優良企業や官公庁に入り、前途有望な技術者としての評価を受けています。**各企業からの求人数は多く、就職率100%**です。

就職に当たっては、多年の実績を活かした指導が行われています。

● 求人就職状況（平成27年3月卒業者）

（ ）は女子内数を示す。

学 科 名	卒業生数	就 職 希望者数	求 人 数	就職者数	求人倍率	就 職 率
機 械 工 学 科	46 (5) 人	31 (4) 人	662人	31 (4) 人	21.4倍	100%
電気情報工学科	46 (6) 人	25 (5) 人	678人	25 (5) 人	27.1倍	100%
物 質 工 学 科	42(22) 人	20(10) 人	376人	20(10) 人	18.8倍	100%
建設環境工学科	35(10) 人	20 (7) 人	460人	20 (7) 人	23.0倍	100%
計	169(43) 人	96(26) 人	2,176人	96(26) 人	22.7倍	100%

● 本校卒業生の主な就職先（平成24年度～26年度）

機 械 工 学 科	電 気 情 報 工 学 科	物 質 工 学 科	建 設 環 境 工 学 科
(株) I H I	アイリスオーヤマ(株)	アクロス(株)	(株)アオモリパイル
出光興産(株)	味の素(株) 川崎事業所	アルプス電気(株)	(株)岩沢測量コンサル
ANAラインメンテナンステクニクス(株)	(株)アドバンテスト	出光興産(株)	エヌ・ティ・ティ・インフラネット(株)
(株)エヌ・ティ・ティ エムイー	(株)エヌ・ティ・ティ エムイー	エプソンアトミックス(株)	(株)エヌ・ティ・ティ エムイー
エプソンアトミックス(株)	エプソンアトミックス(株)	極東石油工業合同会社	(株)片平エンジニアリング
オークマ(株)	キヤノン(株)	(株)金星	(株)クリタス
キヤノン(株)	KDDIエンジニアリング(株)	(株)クレハ	建装工業(株)
北日本機械(株)	コスモシステム(株)	(株)産業公害・医学研究所八戸分室	電源開発(株)
(株)クレオ	(株)小松製作所 郡山工場	三洋化成工業(株)	東海旅客鉄道(株)
独立行政法人国立印刷局	(株)小松製作所 栃木工場	塩野義製薬(株)	東京ガス(株)
(株)小松製作所	サクサシステムエンジニアリング(株)	シオノギ分析センター(株)	東京水道サービス(株)
J F E スチール(株)	産業振興(株)	J N C 石油化学(株) 市原製造所	東京地下鉄(株)
J X 日鉱日石エルエヌジー・サービス(株)	J F E スチール(株) 東日本製鉄所	J X 日鉱日石エネルギー(株)中央技術研究所	(株)東京鐵骨橋梁
住友化学(株)	住友電工電子ワイヤー(株)	J X 日鉱日石エルエヌジー・サービス(株)	東北電力(株)
住友電工電子ワイヤー(株)	セイコーエプソン(株)	新興プランテック(株)	(株)日水コン
セイコーエプソン(株)	ダイキン工業(株)	住友化学(株) 三沢工場	(株)N I P P O
竹田設計工業(株)	中部電力(株)	第一三共ケミカルファーマ株式会社	(株)ネクスコ東日本エンジニアリング
中発テクノ(株)	テコム(株)	第一三共プロファーマ(株)	(株)ピーエス三菱
(株)D R D	東芝 I T サービス(株)	田中貴金属グループ	フジテック(株)
DMG森精機(株)	東芝メディカルシステムズ(株)	大日精化工業(株)	東日本高速道路(株)
東芝プラントシステム(株)	東北インテリジェント通信(株)	(株)ツムラ	東日本旅客鉄道(株)
東京ガス(株)	東北電力(株)	D I C (株)	北海道旅客鉄道(株)
東京水道サービス(株)	(株)豊田中央研究所	(株)テクノカルチャー	前田建設工業(株)
東京鉄鋼(株)	(株)ニコン	東新工業(株)横浜工場	三井共同建設コンサルタント(株)
東北電力(株)	日本原燃(株)	東燃化学合同会社	三菱地所コミュニティ(株)
(株)トノックス	日本たばこ産業(株)	東燃ゼネラル石油(株)	宮城建設(株)
トヨタ自動車(株)	日本電設工業(株)	東北緑化環境保全(株)	国土交通省東北地方整備局
(株)ニコン	日本放送協会(N H K)	東洋インキSCホールディングス(株)	青森県職員
日進工具(株)	八戸製錬(株)八戸製錬所	日本原燃(株)	東京都職員
ニプロ(株)	(株)日立アドバンスシステムズ	(株)日本色材工業研究所	宮城県職員
日本原燃(株)	(株)日立メディコ	(株)日本触媒	仙台市職員
日本たばこ産業(株)	弘前航空電子(株)	日本ゼオン(株)川崎工場	八戸市職員
八戸セメント(株)	北海道電力(株)	八戸セメント(株)	八戸圏域水道企業団
東日本高速道路(株)	北海道旅客鉄道(株)	富士石油(株)	横浜市職員
日立アロカメディカル(株)	三菱製紙(株)八戸工場	丸善石油化学(株)千葉工場	
三井金属エンジニアリング(株)	メタウォーター(株)	むつ小川原石油備蓄(株)	
三菱重工業(株)	(株)リコー	(株)明治 群馬栄養食工場	
三菱製紙(株)	(独)国立印刷局	Meiji Seikaファルマ(株)	
森永乳業(株)	(財)東北電気保安協会	森永乳業(株) 利根工場	
山本精機(株)	八戸市職員	吉野電化工業(株)	

(3) 進 学

高専卒業生は技術者としての十分な素養を備えて、直ちに実社会に入って活躍する者が多いですが、本校を卒業後、さらに勉学を続けたい学生には、高専の専攻科や大学の3年次へ進む道があります。

本校にも2002年4月に専攻科（2年間）が設置され、大学よりも学費が安く、大学3年次への編入学と同様に学士への道が開かれています。

また、専攻科修了後は大学院に進むことができ、本校卒業生の進学者は増える傾向にあります。

● 学士取得可能な国立高専専攻科と編入学制度を実施している主な国立大学一覧

高 専 専 攻 科	関 東 地 区	中国・四国・九州地区
八戸高専専攻科 一関高専専攻科 仙台高専専攻科 秋田高専専攻科 鶴岡高専専攻科 福島高専専攻科 他 多数	茨城大学 筑波大学 宇都宮大学 群馬大学 埼玉大学 千葉大学 東京大学 東京農工大学 東京工業大学 電気通信大学 横浜国立大学	鳥取大学 島根大学 岡山大学 広島大学 山口大学 徳島大学 香川大学 愛媛大学 高知大学 九州大学 九州工業大学 佐賀大学 長崎大学 熊本大学 大分大学 宮崎大学 鹿児島大学 琉球大学
北 海 道 地 区	中 部・近 畿 地 区	
北海道大学 北海道教育大学 室蘭工業大学 帯広畜産大学 北見工業大学	新潟大学 長岡技術科学大学 富山大学 金沢大学 福井大学 山梨大学 信州大学 岐阜大学 静岡大学 名古屋大学 名古屋工業大学 豊橋技術科学大学 三重大学 京都大学 京都工芸繊維大学 大阪大学 神戸大学 和歌山大学	
東 北 地 区		
弘前大学 岩手大学 東北大学 秋田大学 山形大学 福島大学		

● 本科から専攻科・大学への入学・編入学状況

進 学 先	年度ごとの進学者数				
	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
八戸高専専攻科	28	25	18	32	40
北海道大学				1	3
室蘭工業大学	1				1
弘前大学	3			2	
岩手大学	4	4	3	2	3
東北大学		1	2	3	3
秋田大学	1	1			2
山形大学	1	1		1	
福島大学					1
茨城大学				1	
筑波大学				4	1
宇都宮大学				1	1
群馬大学			1		
千葉大学	1	1	4		
東京農工大学	2	1	1	3	1
東京工業大学				1	2
お茶の水女子大学				1	
電気通信大学			2	1	
横浜国立大学			1		
新潟大学			1		2
長岡技術科学大学	2	8	8	6	7
信州大学		3	1	3	
静岡大学				1	
豊橋技術科学大学	8	4	15	4	3
神戸大学			1		
和歌山大学	1				
宮崎大学		1			
琉球大学				1	
札幌市立大学		2			
群馬県立女子大学			1		
東北学院大学	1				
日本大学				2	1
姫路獨協大学				1	
立命館アジア太平洋大学	1				
セントラルミズーリ州立大学	1				
グリフィス大学ゴールドコースト校			1		
合 計	55	52	60	71	71

● 専攻科から大学院への進学状況

進 学 先	年度ごとの進学者数				
	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
北海道大学大学院		2	1	1	1
東北大学大学院		1	1	4	4
山形大学大学院					1
宇都宮大学大学院		1			
筑波大学大学院				1	
東京農工大学大学院	1				
東京大学大学院					2
東京工業大学大学院			2	3	
長岡技術科学大学大学院					1
静岡県立大学大学院	1				
大阪大学大学院				1	
九州大学大学院				1	
合 計	2	4	4	11	9

平成28年度編入学者選抜試験

編入学願書

八戸工業高等専門学校

志願者	志学科	工学科	※ 受験番号
	フリガナ		
	氏名	平成 年 月 日生	男・女
	現住所	(〒) TEL () -	
	履歴	年 月 立 中学校卒業 ※ 年 月 ※ 年 月 ※ 年 月 ※ 年 月 ※	
在籍(出身)高等学校	学校名	立 高等学校	科
	所在地	平成 年 月 卒業見込・卒業 (〒) TEL () -	
保護者	氏名		志願者との続柄
	現住所	(〒) TEL () -	

(注) 1 ※欄は記入しないでください。
2 該当箇所は○で囲んでください。
3 志願票の氏名は必ず自署してください。

平成28年度編入学者選抜試験

写真票

八戸工業高等専門学校

※ 受験番号		
志望学科	工 学 科	
フリガナ		
氏 名	平成 年 月 日生	男・女
在 籍 (出身) 高等学校		
写 真 貼 付 平成27年7月以降に撮影した正面向き、上半身、脱帽、縦6cm×横4.5cmの大きさのものを貼付してください。		

(注) 1 ※欄は記入しないでください。
2 該当箇所は○で囲んでください。

平成28年度編入学者選抜試験

受 験 票

八戸工業高等専門学校

※ 受験番号		
志望学科	工 学 科	
フリガナ		
氏 名	平成 年 月 日生	男・女
在 籍 (出身) 高等学校		

学力試験及び面接時間割

日 時 間	10月7日(水)
9：00～ 9：50	作 文
10：00～11：00	英 語
11：10～12：40	数 学
13：30～15：00	専 門 科 目
15：10～	面 接

(注) 1 ※欄は記入しないでください。
2 該当箇所は○で囲んでください。
3 裏面の「受験者心得」をよ読んでください。

(切り離さないでください)

受 験 者 心 得

1. 受験者は、試験当日 8 時30分までに指定された試験室に入室してください。
上履きは不要です。
2. 受験中は、受験票を机の右上においてください。
3. 机上には、受験票・鉛筆・消しゴム・鉛筆削り・直定規・コンパス以外のものは置かないでください。
4. 受験中の途中退室はできません。

平成 年 月 日

八戸工業高等専門学校長 殿

学 校 名

校長名

印

推薦書

下記の者は、貴校の教育に適し、かつ、入学の意志が強固な者と認められるので推薦します。

氏 名		※ 受験番号	
(推薦所見)			

(注) 推薦所見は、人物・能力・適性等具体的に記述してください。

平成28年度入学者選抜試験

入学検定料領収書・受付証明書貼付票

八戸工業高等専門学校

種 類	学 科 名	氏 名
編入学		

※ 銀行の出納印のあるC票「入学検定料領収書・受付証明書」の裏面にのりをつけて貼り付けてください。

※ ゆうちょ銀行からの振込の場合は「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」の裏面にのりをつけて貼り付けてください。

入学検定料の納入について

- ◎ 入学検定料をゆうちょ銀行から振り込む場合は、別紙の「入学検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点」をご参照ください。
- ◎ 入学検定料をゆうちょ銀行以外の銀行等から振り込む場合は、次のように入願いたします。
1. 入学検定料は、必ず下記の本校指定の「入学検定料振込依頼書」を利用ください。なお、振込の際は別途手数料が必要となります。
 2. 入学検定料の振り込みは、下記振込用紙のA票・B票・C票の「志願者」欄を記入のうえ、銀行等（ゆうちょ銀行を除く。）の窓口にて振込み願います。
- ただし、A T Mからの振込はしないでください。
3. C票の「入学検定料受付証明書」は、「入学検定料受付証明書貼付票」に貼付のうえ、願書受付期間内に本校に提出してください。
 4. 納入期間 平成27年 8月14日(金)～平成27年 8月31日(月)まで

本件に関する問い合わせ先：総務課財務係 TEL 0178－27－7228

A 票

入学検定料振込依頼書

八戸工業高等専門学校

振込先	青森銀行 八戸支店	預金種目	普通	口座番号	2005038	電信扱	入学検定料 振込手数料	¥16500	円
受取人	フリガナ 氏名	コウセンキコウホンブ 高専機構本部			出納印				
志願者	フリガナ								
	氏名								
住所	(〒 -)	(TEL - -)							

B 票

入学検定料振込通知書

八戸工業高等専門学校

依頼日	平成	年	月	日	円
入学検定料				¥16500	円
振込先	青森銀行八戸支店				
受取人	フリガナ	コウセンキコウホンブ			
志願者	氏名	高専機構本部			
	フリガナ				
住所	(〒 -)	(TEL - -)			

C 票

入学検定料領収書・受付証明書

八戸工業高等専門学校

依頼日	平成	年	月	日	円
入学検定料				¥16500	円
振込先	青森銀行八戸支店				
受取人	フリガナ	コウセンキコウホンブ			
志願者	氏名	高専機構本部			
	フリガナ				
住所	(〒 -)	(TEL - -)			
振込手数料					円

※ 取扱金融機関へお願い

1. 当日中に取扱いただくようお願いいたします。
2. 出納印は、A・B・C票への3カ所にもれなく押印してください。
3. B票は、取りまとめ店を経由して八戸工業高等専門学校へ通知願います。
4. C票は、必ず志願者(振込人)にお返しください。

(取 扱 店 保 管)

(取扱店→取りまとめ店(青森銀行八戸支店)→八戸高専)

(入学検定料受付証明書貼付用)

入学検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点

入学検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことが出来ますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- 1) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、**現金による振込は出来ません**。
ご利用の際は、『通帳とお届け印』または『キャッシュカード』が必要です。
- 2) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は、募集要項に添付されている振込依頼書を使用することは出来ません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（以下参照）」を受け取り、記入
いただく必要があります。
- 3) 振込後は「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書（以下参照）」を受領してください。
- 4) 「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」は「入学検定料領収書・受付証明書貼付票」
に添付のうえ、願書受付期間内に本校に提出してください。

※ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（サンプル）

※振替払出請求書預金口座振替による振込受付書（サンプル）

試 験 場 案 内

★ 八戸駅から高専まで（東北新幹線八戸駅から高専まで2.8km）

- タクシー（約5分）
- 南部バス（約10分）
 - ・ 八戸ニュータウン・聖ウルスラ学院線（八戸ニュータウン行）高専前下車
 - ・ 八戸駅・聖ウルスラ学院線（聖ウルスラ学院行）高専前下車
- 南部バス／市営バス共同運行
 - ・ 八戸駅線（司法センター前・田面木・日赤病院経由）（中心街方面行）田面木下車（徒歩10分）

★ 八戸市内六日町から高専まで（J R 八戸線 本八戸駅から高専まで約5 km）

- タクシー（約20分）
- 市営バス（約30分）
 - ・ 八戸駅（司法センター・日赤病院経由）田面木下車（徒歩10分）
 - ・ 八戸聖ウルスラ学院線（聖ウルスラ学院行）高専前下車
- 南部バス（約30分）
 - ・ 八戸駅線（司法センター・田面木経由）田面木下車（徒歩10分）
 - ・ 一日市線（司法センター・田面木経由）田面木下車（徒歩10分）
 - ・ 三戸方面線（司法センター・田面木経由）田面木下車（徒歩10分）

